

# 彼方「かなた」

校長通信  
H29.7.11  
Vol.09

## 【自ら共に学ぶ生徒】

5月に初めて実施した授業評価（20項目のアンケート）の結果がようやくまとまりました。「まあまああてはまる・全てあてはまる」が85%以上という項目がほとんどでした。

1学期の授業が始まったばかりの中で実施した結果なので、現在の授業の様子とは随分違つてはいるかもしれませんが、それでも学年や教科で多少の差異はありますが、白山中全体の傾向は読み取ることができると考えています。次の二学期末のアンケートでは、4の「全てあてはまる」評価が70%以上になるように、全校で授業改善に取り組み、学力の向上を図られるようにしていきたいと思えます。

そのために、次の三項目を二学期の改善目標とし、全校で工夫していきたいと思えます。  
①「主体的な学び」：「わからないところを自分から質問する時間の確保」「授業ルールや発表ルールの確立」

②「対話的な学び」：「自分で考えたり、活動したりする時間やグループ、全体で発表する時間の確保」

③「深い学び」：「何がわかったか、何ができたかをまとめる」

自分から問題を解決しようとする意欲を大切に「主体的な学び」、教材や学習課題に

番号	評価項目				全校				1年				2年				3年			
	1…×	2…△	3…○	4…◎	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
1	やる気がでる授業である。				3	7	23	67	1.5	5.5	22	71	3.5	10	26	60	5.2	5.3	21	69
2	黒板に授業のめあてや課題がわかりやすく書かれている。				3	6	24	67	2	5.4	22	70	2.2	7.3	24	66	4.6	6.3	24	65
3	自分で考えたり活動したりする時間が与えられている。				7	12	27	54	5.3	11	28	55	5.3	12	28	54	9.1	13	25	53
4	自分の考えや友達のことを話し合う場面がある。				5	10	30	55	3.7	9	29	58	3.8	12	33	51	8.4	9.1	27	55
5	何がわかったか、何ができるようになったかをまとめている。				6	9	25	60	2	7.9	23	67	5.8	12	30	52	9	6.8	22	62
6	課題を青色、まとめを赤色で囲んだり、わかりやすい板書になっている。				3	6	22	69	1.3	5.2	21	73	2.3	7.5	27	63	6.6	5.1	18	70
7	黒板の字の大きさや配置等が見やすい板書になっている。				2	6	23	69	1.1	6	23	70	1.3	7.4	25	67	4.4	4.4	20	71
8	用意された教材やプリントなどは、学習内容を理解するのに役立っている。				6	10	32	52	3.6	9.9	33	53	4.9	12	38	45	11	7.7	26	56
9	自分の意見や考えが発表しやすい。				5	10	31	54	2.5	10	28	59	3.6	12	38	46	8.6	7.4	27	57
10	違う人が発表できるように工夫している。				3	6	27	64	1.6	5.2	24	70	2.2	7.1	34	57	4.4	6.4	22	67
11	先生の指示や説明がわかりやすい。				3	6	26	64	2.3	4.9	24	69	1.6	6.9	31	61	5.7	5.9	25	64
12	生徒の考えや意見をよく聴いてくれている。				4	9	27	60	2.6	9.5	26	62	2.8	8.6	31	58	6.8	9.2	24	60
13	授業中よく見回りながら声をかけてくれている。				1	4	25	70	0.6	3.7	22	74	1	4.1	28	67	2.4	5.4	24	68
14	教室内が整理整頓され、学習環境が整っている。				1	4	22	73	0.5	2.8	22	75	0.7	5.2	29	65	1.6	2.8	17	79
15	授業の開始、終了が守られている。				1	5	20	73	0.7	4.1	19	76	0.6	5.7	25	69	2.4	4.8	17	76
16	授業中のルールが守られている。				9	16	31	45	5	15	28	52	6.1	21	37	36	15	12	27	46
17	授業中にわからない時は、進んで質問している。				6	11	32	51	4.1	9.8	29	57	3.3	14	39	43	10	10	28	52
18	授業中に友達から質問されたら、相手がわかるまで説明している。				1	3	22	73	0.9	4.3	22	73	1.3	2.9	26	70	1.9	2.8	17	78
19	授業準備は、言われる前に自分から行っている。				2	4	20	74	1.3	3.9	19	76	0.6	4.4	23	72	3.9	4.6	17	75
20	宿題や提出物は、期限を守っている。				2	5	22	71	1.5	3.5	17	78	1.7	6.4	27	65	3.5	5	22	69

向き合い、友だちと考えを共有する「対話的な学び」、「わかった!」「できたという」学習の達成感、勉強の楽しさを感じ、次に向かう「深い学び」が新しい学習指導要領の目玉です。各教科の授業でそれぞれの「学び」が展開されるように、前述の「質問」「ルール」「時

間確保」「まとめ」を意識したいと思えます。中でも大切なのが、「知りたい」「わかりたい」「できるようになりたい」という学習に対する素直な心の声を「教えて!」「これでいいの?」という言葉に載せて発信する「質問」です。そして、その心の声に「いいよ!」という簡単な言葉ですが、心の温かさが伝わる返事で答え、学び直す関係を作っていくことも必要です。「教えて!」「いいよ!」が言える関係を授業中につくることが、「主体的な学び」のスタートです。「自分が納得するまで聴き続け、相手が納得するまで説明し続ける」という姿、「共に学び合い、支え合う関係」を授業中に表現していきたいと思えます。そのことが、学校教育目標「みがき合い・支え合う、心豊かでたくましい生徒」に迫る授業になるのです。先生の説明を聴いてただ黒板を写すだけの昔の授業ではなく、一時間の学習課題をはっきりさせ、解決策を考え、学級全員で共有し、「できた」「わかった」と言える授業に変えていくことが、未来を切り拓く若者が育つために必要な方法のひとつなのです。それには先生だけ頑張ってもダメです。ひとりひとりがそれぞれの立場で、何ができるかを考え、選択し、行動していかなければ実現しません。市内で最も質の高い授業や委員会活動、行事、部活動が展開される「上質な学校」を目指し、「忍と耐」で進んで行きたいと思えます。2学期は「挑戦の学期」です。